
荒野に建つが如し

にんべん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

荒野に建つが如し

【Nコード】

N7260H

【作者名】

にんべん

【あらすじ】

中原で天下分け目の戦いが行われようとしている最中天水の張済は、軍師賈&#35425;の言葉によって鬱々とした生活から抜け出す一計画を発動させる。マイナー武将の活躍する仮想小説。

ブローグ

後漢末期

黄巾の乱がまだ続く中、中原で大きな対立が起きていた。

洛陽では劉協を鼎立させた董卓が略奪、殺戮、誘拐を行い
それに憤怒した曹操が袁紹を総大将として反董卓連合軍を組織した
のであった。

そんな中原に関心を持てぬ人物がここにいた。

その名を張済。

十数年、董卓の家臣として努めて来た彼にとっては今回の異動は不
服であった。

異動というのは天水の守備で

征西將軍、馬騰の攻撃に備えるというものであった。

反董卓連合軍を倒し出世の道でもあるのにこんな所では活躍するま
もなく廃れるであろう。

それだけならまだしも、董卓の娘婿こと牛輔が上官としてついてい
るのだ。

無能で有名な牛輔である。

その能力もない権力だけの人間が上にいるとは憂鬱なもので
今宵も鬱々と書物を読みふけていた。

そんな張済に一人の長身の人物が訪れた。

「そんな事ができるとでも思っているのか！」

訪れた男がいきなり提示した話に動揺を隠せないのか、夜中だといふのに怒鳴り散らしている。

投げ捨てた書物が無造作に散らばっている。

「しかし、このままいいように暮らし野垂れ死ぬもどうかと……」

長身の男は、自分の主でもあるのに関わらずけずけと話す。

「かといって、あいつを簡単に殺せると思うか？」

たとえ策士のお前でも、無理があろうに。」

「こちらには協力してくれる人物がいるではありませんか。」

張済は少し男の言わんとする人物を探り出そうと考え込んだ。

「…張繡、胡車児、張先、雷叙、精々この程度だろう。」

身内と信じられる部下の名を挙げていく

長身の男は主の答えを聞くと、目を閉じ張済に続くように人物を言っていく。

「馬騰、劉焉、張魯…」

「なにをお前は!…」

敵対勢力の名を挙げる

張済の言葉も気にせず男は言葉を続けていく。

「王方、李蒙、徐栄、樊稠…」

そして次々とあがっていく同僚たちの名前に、張済は絶句する。

「それは可能性じゃないだろうな？」

「左様でございます、この賈クの言は嘘はございません。」
と賈クと名乗った軍師風の男は強い眼差しで語る。

この賈クという長身の男、武威郡姑臧県の生まれで

昔から自分の才能を隠すように生活してきた。

なぜそんな彼が張済に仕えているかと言うと

数ヶ月前に訳あって長安に赴く所を、偵察に向かっていた張済の甥、

張繡に気に入られ登用されたのであった。

張済もこの謙虚な賈クを大いに気に入り幕僚として側においていた。

その賈クが提案した一大作戦。

これが張済の今まで仕えて来た董卓への反逆である。

「確実に不敬罪、もしくは反逆罪だろうな。」

自虐するように張済は答える。

「それ以上でしょうな、一族皆殺しをされるでしょう。」

他人事のように話す賈ク。

「他人事のようだなお前は。」

「他人になれますから。」

少し生意気ながら面白いことを常に持ちかける賈ク大物かと思つたがここまで大物とは思わなかつた。

「ふん、たとえ協力がいても勝算がなくては動く気は無いぞ。」

賈クと言論するのを諦めた張済は椅子にゆつたりと腰掛け彼の作戦に耳を傾けた。

散らばつた読みかけの書物を照らすため蠟燭は、彼らを怪しく照らしていた。

第一話：牛輔

ここ天水には、張済以外にも官軍として牛輔が駐屯している。

その牛輔は私設軍として数千もの兵士を持っている。

通常はそのようなことは許されないのだが董卓の娘婿という肩書きのゆえ

張済も処罰することも出来ない。

そして、私設集団があるということはまた反乱工作の懸念の一つになりうるという事だ。

たとえ張済の持つ数万で破る事は容易いがその後からしてここで兵を減らしたくない。

そこで賈クは簡単、かつ安易な策を提示してきた。

「暗殺してしまえばいいんですよ。」

と言う事である。

作戦も至って短絡的であった。

協力者馬騰が進軍してくると同時に偵察を提示。

彼を私設集団から離れたところで一気に暗殺すると言う事であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7260h/>

荒野に建つが如し

2010年10月14日12時02分発行